



Software Development Business Report

第52期 報告書

2021年1月1日 ▶ 2021年12月31日

CONTENTS

- What's!?! ISB

アイ・エス・ビーグループ理念体系
アイ・エス・ビーグループの事業領域

- ごあいさつ

- 中期経営計画の取り組み

- サステナビリティ基本方針の策定

- トピックス

心豊かに暮らす笑顔溢れる社会づくりに向けた
当社グループの取り組み

- 連結分野別業績

- 会社概要／株式の状況

- 株主様向けアンケート結果ご報告

裏表紙のアンケートに
ご協力ください

move
up
further

What's!? ISB

アイ・エス・ビーグループ理念体系

アイ・エス・ビーグループ企業理念

夢を持って夢に挑戦

私たちアイ・エス・ビーグループは卓越した技術と魅力ある製品・サービスで心豊かに暮らす笑顔溢れる社会づくりに貢献します。

時代の変化に適応し、知恵とITの融合により、未来を切り拓く新たな価値を創造します。

誇り 誠実 挑戦

誇り

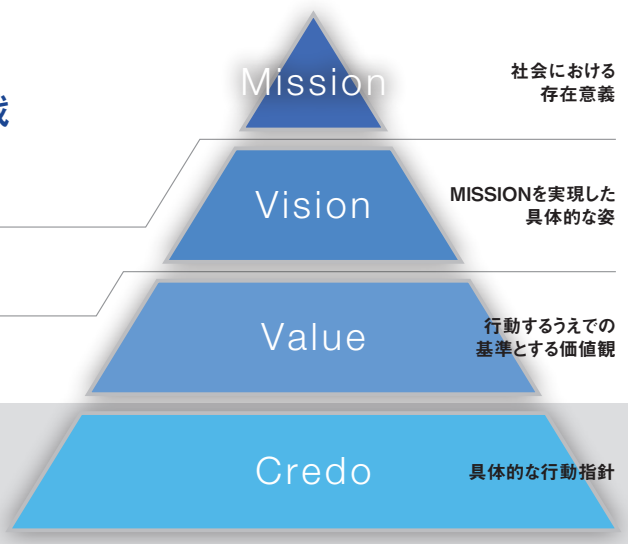
プロフェッショナルとして、自らが技術とアイデアを磨き続け、成長するとともに企業の発展を通じて社員の健康と家族の生活を応援します。

誠実

お取引先様と常に誠実に向き合い、あらゆる期待に応える解決策を提案します。ガバナンスとリスクマネジメントを徹底し、透明性の高い経営に努めます。

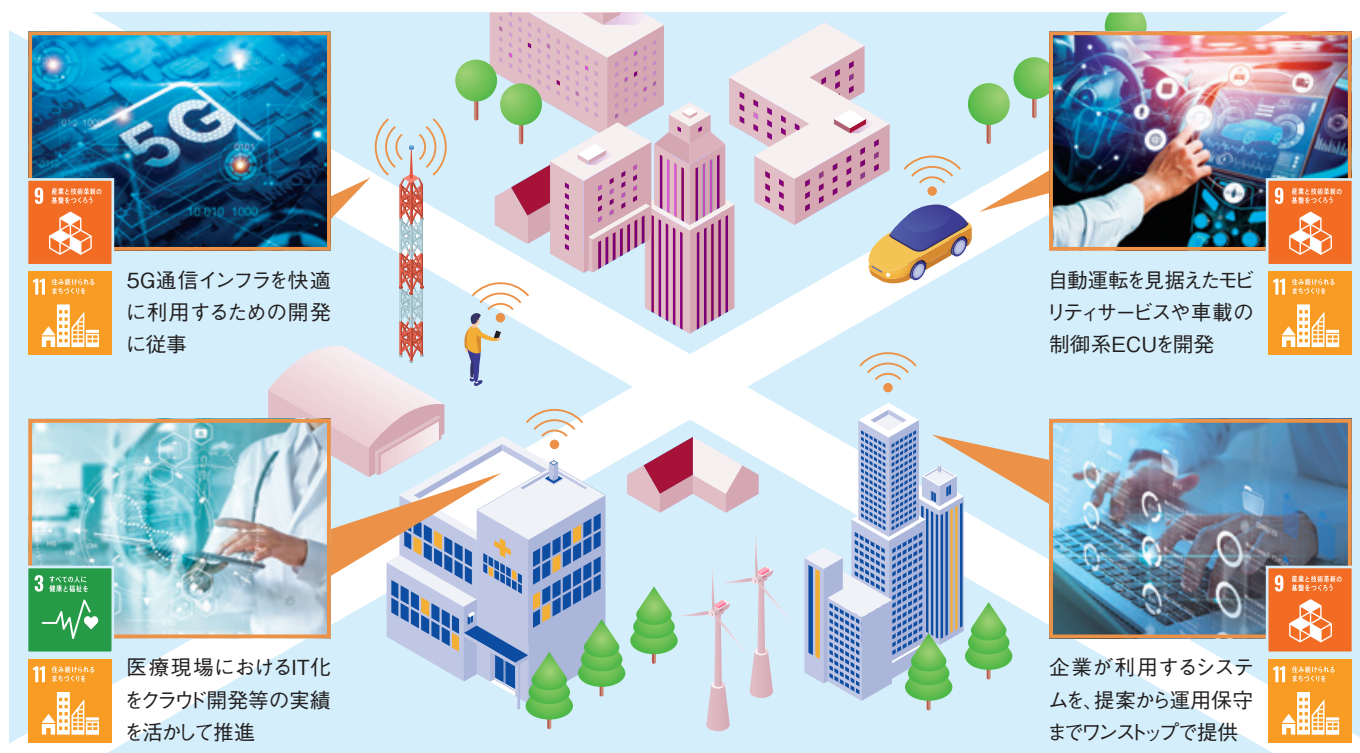
挑戦

夢のある未来へ向けて、新たな価値の創造に情熱をもって取り組み、進化し続けます。



アイ・エス・ビーグループの事業領域

当社グループの製品・サービスは、身近なところで社会課題の解決に貢献しております



モビリティソリューション

モビリティサービス、移動無線端末・基地局に関わるシステム、車載などの組み込み系システム

ビジネスインダストリーソリューション

民間企業向けシステム、医療・産業機器などの組み込み系システム

エンタープライズソリューション

官庁・自治体、金融系企業向けシステム、インフラに関わるシステム

プロダクトソリューション

ALLIGATE(入退室管理システム)、VECTANT SDM(モバイルデバイス管理)、L-Share(医用画像システム)

ソリューション事業・プロダクト事業の詳細はHPでご確認いただけます。

ソリューション事業ページ

<https://www.isb.co.jp/solutions/>



プロダクト事業ページ

<https://www.isb.co.jp/products/>



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第52期(2021年1月1日から同年12月31日まで)の事業概況をご報告し、あわせて第53期の取り組みについてご説明いたします。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、企業のデジタル化へ向けたIT投資需要は高い状態にあり、好調に推移しています。しかしながら、半導体不足による供給制約や、原材料価格の高騰等のリスクに伴う収益悪化を懸念し、大型の設備投資が先送りされる動きなども見受けられます。

このような状況の中、当社グループは、3か年中期経営計画「新しい一歩 ～ move up further ～」の初年度として顧客開拓や有望分野の拡大に向け、積極的な営業活動を進め、新たな需要の取り込みに努めてまいりました。以上の結果、当連結会計年度の連結業績は、昨年の過去最高を更新いたしました。第52期末の配当金は、配当性向30%を目標に内部留保を勘案の上、可能な限り安定した配当を継続する方針のもと30円とさせていただきます。

株主の皆様には、今後とも何卒、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 若尾 一史

社会のデジタル化、DX化を追い風に、社員と共に夢を描き続ける

——まず、第52期業績の振り返りをお願いします。

新型コロナウイルス感染症の影響は受けましたが、社会のデジタル化やDX推進は当社に追い風で、5G関連や企業内システム開発などで受注を拡大いたしました。半導体不足により車載システムの開発においては影響を受けましたが、新規案件の受注もありトータルでは堅調に推移いたしました。また医療系システムや通信機器等のデバイス関連の開発、サーバ・ネットワーク構築業務も好調でした。株式会社アートで販売する入退室管理システムや建設キャリアアップシステム(CCUS)関連などの受注も拡大しております。

また今後、社会・環境問題をはじめとするサステナビリティを巡る課題に対し、事業活動を通じて解決するための取り組みとして、サステナビリティ委員会を設置いたしました。当社グループの事業や社会への影響が大きいと思われる優先課題を見極めたうえで、環境・経済など社会全体への影響に配慮した長期的な視野に立った企業経営に取り組み、高いガバナンス水準を備えた「永続する企業」を目指してまいります。

——新たなアイ・エス・ビーグループ理念体系の浸透についてお聞かせください。

新任の社長として、決算説明で全事業所を回った際に従業員とのタウンホールミーティングを実施し、新たな理念体系の説明を行いました。当社では新たな事業アイディアを従業員が提案する

デベロッパーズサミットを毎年開催していますが、理念体系に合わせた新規事業提案も増えており、浸透し始めていると感じています。各社、各部門の強みや各々が持つ戦略に、新たな理念体系を意識し紐づけることができてきております。

また、グループ会社従業員とのタウンホールミーティングでは、「我々の会社はISBからどのような存在として見られているのか。」、「グループの中でどういう位置付けとして見られているのか。」といったグループ全体から見た自社の位置付けの質問が見られました。これは、各社およびその従業員としてグループのどの役割を期待されているのかを改めて確認し、その役割で強みを発揮していきたいという思いの表れと考えました。また、「自社以外のグループ会社の技術にはどういうものがあるのか。」といった、グループ全体での技術・スキル共有に関して質問の声も寄せられました。こうした要望にも応えるため、更なるグループ内コミュニケーションの活性化や各社の持つスキルに見える化を進めていく所存です。今年もタウンホールミーティングを開催予定のため、質問が多かった箇所を中心に私からも改めて従業員の思いを聞いていきたいです。この他にも、中期経営計画2023のその先である10年先の姿について、各自の業務や事業をどのようにしていくかを話し合える場を積極的に持つようにしていきます。若手社員の方からも忌憚のない意見が出てくることを期待しています。

——中期経営計画2023で掲げる3つの取り組みの進捗について教えてください。

重点戦略1つ目の「顧客開拓、有望分野の拡大」ですが、5G関連や車載といった有望分野を多く受注できたことも堅調な業績を牽引した要因だと考えています。その中でいくつかの新規開拓も成功しましたが、更なる案件獲得を目指してまいります。

重点戦略2つ目の「ソリューション事業の創出」ですが、昨年新たに設立したソリューション営業統括部により、ワンストップで仕事を受注するプライム案件も増えている状況です。営業でも若手人材を登用し、さらにはFAEによる技術営業を強化しています。この結果、専門的なソフトウェア見積もりを技術者が提案することで、レベルの高いソリューション提供の営業ができています。まだ試みが始まったばかりで時間はかかるかもしれませんが、FAEによる営業スタイルを確立し、レベルを上げることがこれからのキーになると考えております。プライム案件に関しては、当社従来の管理プロセスだけでは機能不足な面があるなど課題が見られました。

既存の請負業務は詳細な仕様がメーカーから下りてくるため、指示通りに作業を行うことがほとんどですが、プライム案件を扱っていくためには、これまで以上のプロセス管理が必要です。プロセス管理やお客様とのコミュニケーションを見直し、一步一步着実に改善を行ってまいります。

重点戦略3つ目の「グ

ループ経営強化」では様々な展開を行っております。最もわかりやすい取り組みは地域の活用です。ベトナムに関しては完全にオフショア開発部隊として仕事を出しています。コロナ禍でロックダウンしたものの、さほど大きな影響はなく済みですが、品質リスクを回避するため長期の品質管理者の派遣を検討しております。

それから福岡、仙台、札幌にはグループ会社があります。現状、首都圏に業務が集中していますが、地方のリソースを大いに活用しグループ経営を展開したいと考えています。グループ会社は得意とする技術や仕事のやり方にも差がありますので、グループ間の垣根を越え人材交流を行うことでグループ力を強固にしていきたいと考えております。また管理体制の強化も重要視しております。

——中期経営計画、その先に向けてのお考えについてお聞かせください。

昨年から今年にかけて、10年先、さらにはその先の将来像について考えています。私一人で悩むよりは多くの従業員の意見を聞きながら夢を明確にしていきたいと思っています。従業員の皆さんには、当社グループ企業理念であります「夢をもって、夢に挑戦」を胸に、常に夢を持ち、そのために向上心、そして挑戦する気概を持って毎日を過ごしてもらいたいと思います。経営も若手技術者に期待しています。

当社のソリューションがあることによって社会が円滑に機能し、人々に明るさと元気をもたらすことができるというのが我々グループの存在意義だと思っています。そこにつなげていくため技術の向上に挑戦してまいります。一方、社会や経済の不確実性が高まる中で、これらのリスクに対応できる「永続する企業」をつくることが私の究極の目標です。

これからの50年も皆様と共に歩んでまいりたいと願っております。今後ともより一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画の取り組み

ISBグループ中期経営計画2023の概要

方針

新しい一歩～move up further～

新生ISBグループ創出に向け、今までの50年の更なる進化と新たな領域への挑戦でより多くのお客様にソリューションを提供できる企業を目指す。

2023年度グループ目標

売上高 **300** 億円

営業利益 **24** 億円

営業利益率 **8%**

重点戦略

1.顧客開拓、有望分野の拡大

営業力と技術力の強化。

2.ソリューション事業の創出

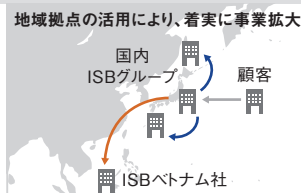
プロダクトと特化した知見に幅広い業務実績を融合したソリューションの創出。新しいビジネスモデルへの挑戦。

3.グループ経営強化

新ミッション・ビジョン、グループ理念体系を共有。グループシナジーによる事業拡大、管理業務効率化。

グループ経営強化

- グループ連携強化とリモート開発推進による、地域拠点での受注増加、優秀な人材の確保



- 社内制度や社内インフラなどの整備による、働き方改革の推進、人材育成・活用



サステナビリティ基本方針の策定

当社グループは、卓越した技術と魅力ある製品・サービスで心豊かに暮らす笑顔溢れる社会づくりに貢献することをミッションとし、その実現を目指しております。

今後も、社会・環境問題をはじめとするサステナビリティを巡る課題を理解し、事業活動を通じてそれらの課題を解決していきます。事業活動を通じて持続可能な社会づくりに貢献していくため、当社グループの事業や社会への影響が大きいと思われる優先課題を見極めたうえで、環境・経済など社会全体への影響に配慮した長期的な企業経営に取り組み、高いガバナンス水準を備えた「永続する企業」を目指してまいります。

ISBグループの技術力や知恵で、誰もが幸せになれる社会づくりへ貢献

- 知恵とITの融合による、未来につながる製品・サービスの提供
- 従業員が成長し続け活躍できる、また多様性のある職場環境の実現
- 攻めと守りを両立させるコーポレート・ガバナンス
- 環境負荷の低減に向けた事業活動の推進



環境

- エネルギー管理・温室効果ガスの削減

- 電力、OA用紙などの使用量の削減
- データセンターのエネルギー効率化



社会

- 事業活動を通じた社会貢献
- 従業員エンゲージメントの向上、多様性の推進

- 社会課題を解決する新しい技術、製品・サービスの開発
- 人財の育成
- 働き方改革・働きやすい職場づくり
- 多様な人財の採用と活躍支援
- 地域社会への貢献



ガバナンス

- 情報セキュリティの強化
- コンプライアンス遵守/リスク管理・事業継続
- 企業統治・透明性の向上

- 個人情報保護・秘密情報管理
- 適切な取引・コンプライアンス遵守
- リスク管理・事業継続
- 品質・安全性
- コーポレート・ガバナンス体制の強化

トピックス

心豊かに暮らす笑顔溢れる社会づくりに向けた当社グループの取り組み

当社グループは、医療分野においても理念体系のミッションにあります「心豊かに暮らす笑顔溢れる社会づくり」に取り組んでおります。

当社は、30年以上にわたり医療装置のソフトウェア開発に携わっております。

そのIT技術およびノウハウを基に当社が提供しているL-Shareサービスは、医用画像や通信に関するサービスで、JICA(国際緊急援助隊)や兵庫県のDMAT(災害派遣医療チーム)などに導入されるなど医療現場で大いに活用されております。

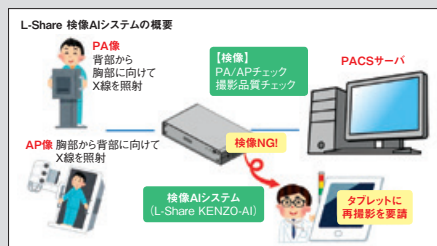
さらに、2021年7月には、そのL-Share技術と国立研究開発法人国立がん研究センター東病院との共同研究により、医用画像解析機能を搭載した検像AIシステムの製品化を発表いたしました。

本製品は、AIが医師からの撮影オーダーと異なる画像や標準的な撮影範囲から一定の基準以上外れてしまった画像を自動的に解析・評価し、即座に撮影の撮り直しを通知するシステムです。

これまでの医療分野における当社のIT技術およびノウハウと近年注目されている新たな分野であるAI技術を融合させたこのサービスで、医療業界のICT化推進や医療の安全性の向上に寄与し、社会を豊かにすることに貢献できればと考えております。

他にも当社グループでは、車載事業、交通系ICカード関連サービスなどの現在の社会基盤に重要な分野はもちろん、重要性を高めつつある宇宙事業など様々な分野において、ISBグループ全体で新たな製品・サービスの実現に向けた取り組みを行っております。

今後も医療分野に限らず、卓越した技術とサービスでサステナブルな社会の実現に尽力してまいります。



当社が展開しております「L-Share製品」の詳細については下記のHPをご覧ください。

<https://lshare.isb.co.jp/>



連結分野別業績

モビリティソリューション



業績見通し

【モバイルインフラ】

引き続き5G関連業務は堅調に推移し受注拡大による増収を計画しております。

【車載】

半導体調達難の影響は受けるものの、EV関連・自動運転関連などの新規受注拡大を図ってまいります。

【移動無線端末】

スマートフォン市場が縮小傾向のため、他の業務へのシフトを図ってまいります。

ビジネスインダストリーソリューション



業績見通し

【組み込み】

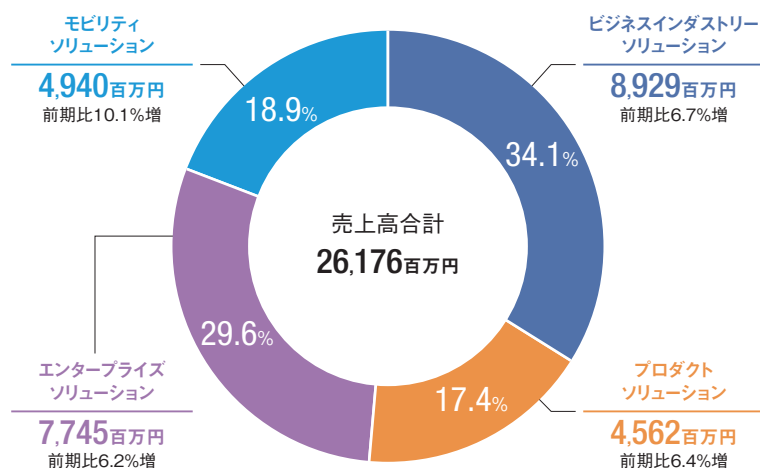
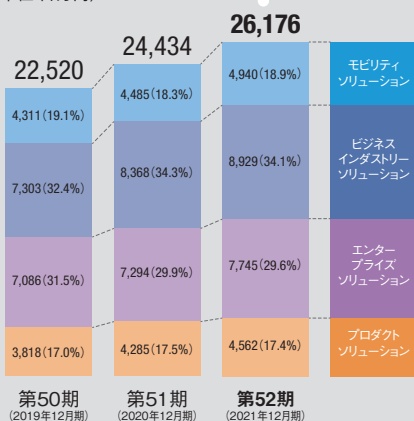
IoT関連のシステム開発、家電や映像機器向けのシステム開発の受注で増収を計画しております。

【業務システム】

DX需要は引き続き引き合いも多く、プライム案件獲得に注力し増収を計画しております。

連結分野別業績

売上高／構成比
(単位:百万円)



エンタープライズソリューション



業績見通し

【金融・公共】

証券系の主要顧客からの継続案件の確保を図るとともに、公共系業務では競争入札などに参入し、中央省庁・独立行政法人への事業展開・商流改善を図ってまいります。

【インフラ構築】

上期は半導体調達難の影響を受け、サーバ・ネットワーク構築業務が一部後ろ倒しとなることを予想しておりますが、前年度並みの受注確保の見込みです。

プロダクトソリューション



業績見通し

【セキュリティシステム事業】

半導体調達難の影響を受け、入退室管理システム機器の製造遅延など厳しい状況の中、影響の少ない製品の販売に注力するものの減収を計画しております。

【MDM事業】

2022年4月の事業完全移管に向けた販売体制構築と製品開発で更なる成長を目指してまいります。

【L-Share事業】

事業環境は引き続き厳しいものの、受注拡大に向けた営業活動の強化と、前年度引き合い分の案件受注により、増収を計画しております。

会社概要／株式の状況

株式の状況 (2021年12月31日現在)

発行可能株式総数	25,000,000株
発行済株式の総数	11,363,159株
株主数	5,691名

大株主情報

株主	当社への出資状況	
	所有株式数 (株数)	持株比率 (%)
有限会社若尾商事	2,001,400	17.61
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,038,900	9.14
アイ・エス・ビー・グループ従業員持株会	496,500	4.36
若尾一史	280,917	2.47
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	270,500	2.38
株式会社第一情報システムズ	180,000	1.58
ROYAL BANK OF CANADA (CHANNEL ISLANDS) LIMITED - REGISTERED CUSTODY	160,000	1.40
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG / JASDEC / FIM / LUXEMBOURG FUNDS / UCITS ASSETS	147,800	1.30
株式会社KSK	123,200	1.08
山下良久	106,700	0.93

会社情報 (2022年3月25日現在)

社名	株式会社アイ・エス・ビー ISB CORPORATION
設立	1970年(昭和45年)6月
資本金	23億4,693万円
従業員数(連結)	2,190名(2021年12月31日現在)
役員	代表取締役会長 若尾逸雄 代表取締役社長 若尾史一 取締役 竹田陽一 取締役 関本祥文 取締役 小笠原芳市 取締役 牧田甲希 取締役(常勤監査等委員) 久世慎一 社外取締役(監査等委員) 渡邊芳樹 社外取締役(監査等委員) 浅井清孝 社外取締役(監査等委員) 清水希代 社外取締役(監査等委員) 佐藤香代
本社	〒141-0032 東京都品川区大崎5-1-11 住友生命五反田ビル TEL 03-3490-1761(代表) FAX 03-3490-7718
事業所	我孫子、五反田、新横浜、三島、甲府、名古屋、大阪

グループ会社

株式会社エス・エム・シー	システム構築保守、運用サービスなど、顧客のビジネスを支援するITサービスを提供。
株式会社アイエスピー東北	仙台を中心に、産学官共同開発など、地元に着目した事業を展開。
ノックスデータ株式会社	長年培った品質を強みとし、スピード感を持ってソフトウェアを開発。
株式会社スリーエス	ソリューション事業・ソフトウェア開発事業を展開。首都圏などからの受注も推進。
株式会社アート	業界のバイオニアとして入室管理システムなどのセキュリティ関連製品の開発・販売。
アートサービス株式会社	アート製品の修理・保守サービスを提供。
コンピュータハウス株式会社	技術力や想像力を背景とした質の高いITサービスの提供。
株式会社テイクス	IT技術者の育成を強みに、関東圏内を中心に事業所を展開し、システム開発支援事業を営む。
ISB VIETNAM COMPANY LIMITED	オフショア開発で、高品質かつ適正価格のサービスを提供。

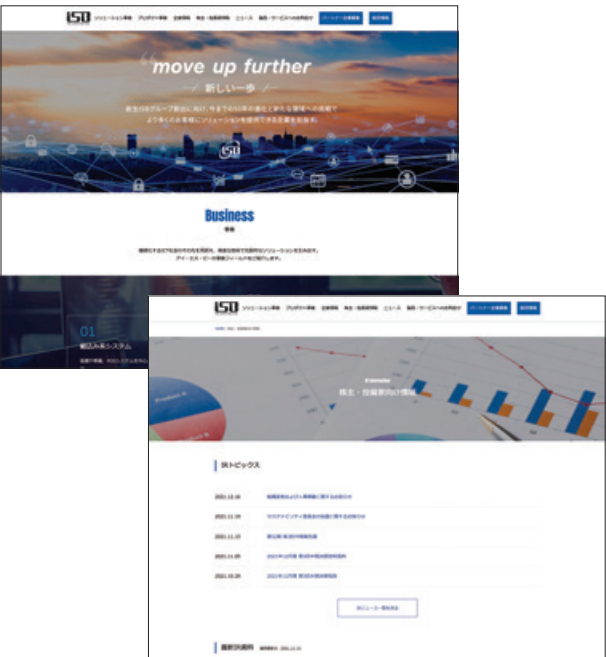
株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	12月31日
中間配当金受領株主 確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 ※2022年4月4日にプライム市場へ移行予定
公告の方法	電子公告により行う公告掲載URL https://www.isb.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内



IR情報や当社に関する最新動向をお伝えしております。



株主様向けアンケート結果ご報告

当社では株主の皆様との対話を重視し、その一環として皆様からのご意見を伺うため株主様向けアンケートを実施しております。

昨年は全株主様の1.7%にあたる83名の株主様からご回答をいただきました。

アンケートにご協力いただきました株主様に厚く御礼を申し上げますとともに、皆様の貴重なご意見を今後の経営やIR活動に活かしてまいります所存です。

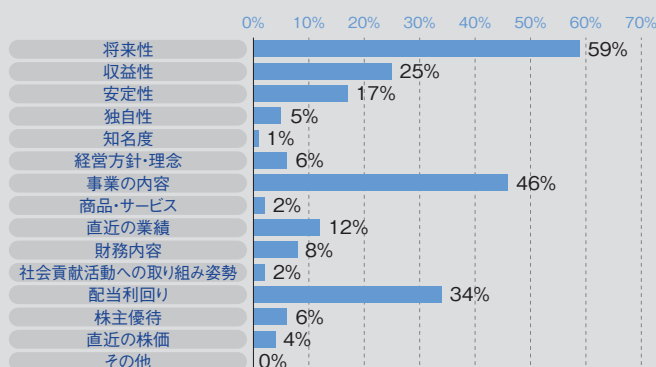
ここにご回答いただいた内容の一部をご紹介します。

尚、当社ホームページには全問の回答結果を掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

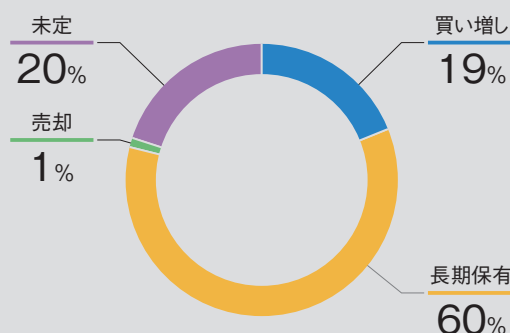
<https://www.isb.co.jp/newsroom/data/pdf/release20210928-1.pdf>



あなたが当社に魅力を感じている点はなんですか。(3つまで)



あなたは当社株式に対してどのような方針をお持ちですか。



株主様からのご意見

- 中期経営計画(取り組みを)、期待しています。
→ 本誌面の3ページに取り組み事例を掲載しております。
- 新規事業、研究開発について情報がほしい。
→ 本誌面の4ページに取り組み事例を掲載しております。
- 今年から発足するデジタル庁に関するアプローチが消極的と感じます。
特にコロナ禍における医療分野での貢献とIRに期待したい。また、昨今のEV自動運転の流れを取り入れ得意の自動車分野の関わりを意識したIRも期待したい。
- 情報サービスとの事で、これから欠かせない企業だと思います。四季報を見る限り経営も収益も良いと思います。年一回の配当を楽しみに長期保有のつもりです。皆さん頑張ってください。
- 5GやIT関連はコロナの影響もありここから数年で更に加速し成長する分野だと思っていますので大変期待しております。



〒141-0032
東京都品川区大崎5-1-11 住友生命五反田ビル8F
TEL: 03-3490-1761
FAX: 03-3490-7718

<https://www.isb.co.jp/>



株主様向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。
(所要時間は5分程度です)

① 下記URLにアクセス

② アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示



<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 9702

……以下の方法でもアンケートにアクセスできます……



検索窓から



kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信
[件名]「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。



スマートフォンから
カメラ機能でQRコード読み取り→
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を
進呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

アンケートのお問い合わせ

「e-株主リサーチ事務局」
MAIL: info@e-kabunushi.com

(2201)